

広報なきじん

毎月1日発行



村章

1

1992

No.194

●今帰仁村の人口

平成3年11月30日現在
男4,786人(+10) 女4,841人(-10)
世帯数3,094(+3)
村の人口9,627(±0)



新しい年を迎えて、決意を新たに、 実り豊かな年でありますように

新しい年を迎え、村民の皆様方に謹んでご挨拶を申し上げます。旧年の「広報なきじん」の表紙を見ると、ふれあい少年の翼、北山高校生物クラブの優良賞、今帰仁城跡から見たグスク時代の山原、今帰仁村民プールの完成、乙羽・呉我山トンネルの開通、豊年祭などが紙面を飾り、動きのある年であったような気がします。今年は申年ですが、旧年以上に発展する年になつてほしいものです。

新年号の表紙を飾っている写真は、一九五七（昭和三二）年八月の今帰仁（現在の今泊）よりの水田地帯です（ハッキンズ氏提供）。水田には刈り入れを待つて、たわわに実った稻が金色に輝いています。畦道を三人の女性が、束ねた稻を頭に乗せ運んでいます。お手伝いをしたのでしょうか、麦わら帽子の少年が一人。茅葺き屋根の家が、まだ多く見られますが、遠くには瓦屋根の家も見えます。せわしく動いている時代ですが、三十五年前の長閑な水田のある風景眺めながら、新年の決意を新たにしたいものです。

年頭にあたり

今帰仁村議会



副議長 宮城 康吉 議長 山城 正

目指し、産業・福祉・文化・教育など行政全般にわたり成果を収めるよう議会と執行機関が一体となって最善の努力を傾注する所存であります。

特に二十一世紀を担う村内児童生徒の基礎学力の向上、

国際的に活躍できる人材育成、

将来の今帰仁村を担うりっぱな青年が一人でも多く育つ環境づくり、村民が住みよい明

るい村、温かみのある文化村を進めるべく、村民の意見や

要望を大切にし、一層努力していかなければならぬと考

えております。

私ども村議会は、村民の代

表機関として常に村民の立場に立つて村政の健全な発展と

村民福祉の向上を図るため、

全議員ともども力を合わせ、

英知を結集して円滑な議会運

営に誠心誠意全力を尽してい

く決意でございますので、今

輝かしい一九九二年の新春を迎えるにあたり、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

村民の皆様には、常日頃から村当局並びに村議会に対す

る温かいご理解とご協力を賜りましたことに対し、ここに厚くお礼申し上げます。

本年は、本土復帰二十周年を迎え、大きな節目の年と位

置づけ、本村においても二十世紀に備えるべく村づくりを

今年は申年



平成

四年は申年です。
サルは、桃太郎や

サルカニ合戦にも登場する、

おなじみの動物です。

ひとくちにサルといつても、

体重や種類など、実にさまざま

ものです。ゴリラなどは大きい

ものでは、体重約二百キロ以上もあります。一方、マダガ

スカルにいるミミゲコビトキ

ツネザルは、体重四十五グラムほどです。また、大きなシ

ッポをもち、木の上で生活す

る原猿（下等靈長類）のなか

には、「見リスに似たものも

人に親しまれてきました。昔

せんか。

ニホンザルは、昔から日本

に親しまれてきました。昔

せんか。

に、こんなことも考えてみま

せんか。

せん

今帰仁村基礎学力向上研究発表会

“学力検査”“達成度テスト”着実に向かって

村内外から高い評価

県教育委員会から基礎学力向上推進地域に指定された本村の研究発表会が十一月三十日、午前は、兼次中学校で公開授業が行われた。午後は、コミュニティーセンターで研究発表会が行われ、村内外から約三百人の参加を得て盛会に行われた。西島一将学対委員長（教育長）のあいさつに続き、大城淳穏指導主事、比嘉猛夫兼次小校長、運天富三兼次中校長、宮城康吉家庭教育部長、金城郁代今泊PTA代表、内間繁樹諸志PTA代表の実践報告がなされ、本村学力向上の三ヶ年の取り組みの実績と、今後の課題が具体的に発表された。



大きな成果を上げた研究発表会

兼次小学校で行われた公開授業

研究の成果と課題

① 小学校の学力検査と県教育委員会の実施した達成度テストは、着実に向上の傾向にある。

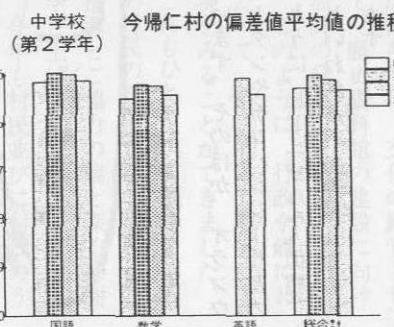
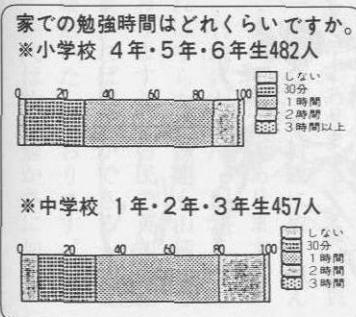
② 中学校の傾向としても向上の兆しはあるものの、まだ県平均値には達してないことが分かった。

③ 六・三〇運動についてはかなり意識されてきた。しかし、今後も引き続き努力していく必要がある。

④ 家庭学習の時間がまだまだ不足の状況であり、各家庭や学校の連携で二時間以上の確保の努力が必要である。

⑤ テレビを見る時間が無計画になっていると考えられる。学習時間とのバランスを考え、今後は番組を選んで見る習慣づくりに努力する必要がある。

⑥ 本村の行政担当者の教育に対する熱意を感じられ、教育環境の整備や財政の援助が強力になされてきた。



教育は百年の大計

「村興しは、人づくり」からをモットーに、再び今帰仁の「教育立村」をめざして進めてきた本村学力向上推進の努力が、結果的に見てかなり実績を上げ、村内外からも注目してきた。

本村の学対の基本方針として、真っ先に打ち出している

「人格の完成をめざす」教育

こそ、二十一世紀に生きる児童生徒の真の教育と考える。

教育は、一朝一夕に結実す

るものではなく、十年先・十

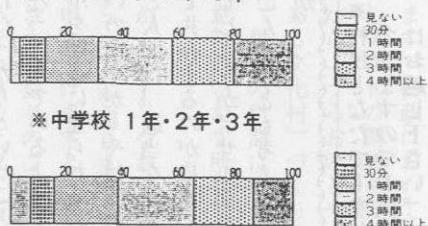
年先・百年先を見据え、根

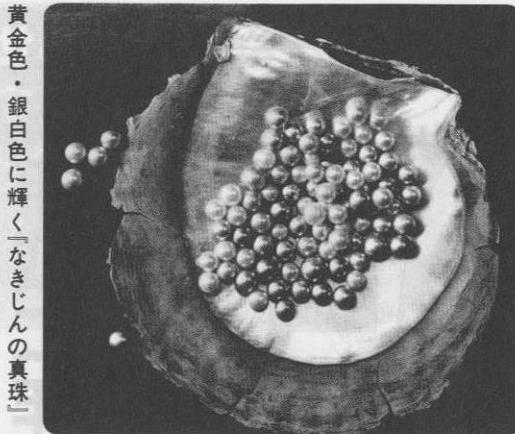
気強く、村民や関係機関の協力

の下に、継続して基礎学力向上

に精進していくいただきたいもの

テレビを見る時間は、どれくらいですか。
※小学校 4年・5年・6年

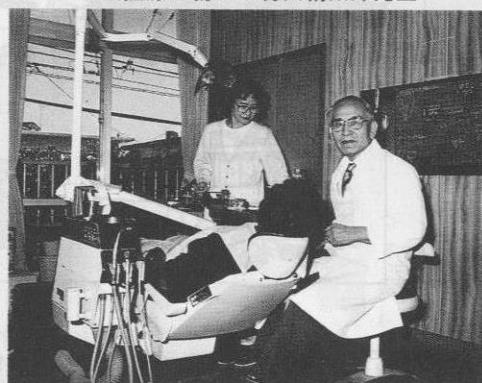




世界市場へとほりきる玉城末春さん(左)と金城富久さん

黒金色・銀白色に輝く「なきじんの真珠」

地域医療に務める村田精太郎先生



むらた歯科医院の村田精太郎先生（上運天一三七）が、十一月十五日から十八日にかけて那覇市奥武山公園で開催された沖縄の産業まつりの「発明くふう展」で沖縄県知事より優秀賞を贈られました。受

は、三十四年余の口腔治療及び疾病的予防・治療処置など健康の保持増進に貢献したことが認められたもの。

二重の受賞に村田先生は、「これからも地域医療に力を注ぎたい」と喜びの中に抱負を述べていました。

黄金の真珠養殖に成功 琉球真珠が日本初の企業化 キ・ラ・リ 水産業と観光の“目玉”に！

黒真珠生産で世界的に知られる琉球真珠（比嘉良佑社長本社・石垣市）が、企業としては日本で初めてシロチョウガイの養殖に成功した。

シロチョウガイは熱帶性の真珠貝で、沖縄の冬の寒さに耐えられるか懸念されたが、西表島の舟浮養殖場で昭和五十六年から続けてきた人口彩苗に目途がついた。

その後、羽地内海湧川地区で試験養殖に取り組み、約十一年間かけて市場に出せる商品化がこのほど実現した。

「クロチョウガイで培つてきた技術が役立った。湧川の海はプランクトンが多く、養殖に最適です」と仲野英則養殖部長。

「クロチョウガイで培つてきた技術が役立った。湧川の海はプランクトンが多く、養殖に最適です」と仲野英則養殖部長。

城末春さん（今泊一一八）は、「美しい真珠が多く女性に愛用されるようこれからも技術の向上に務めたい」と語り、「黄金真珠（ゴールドパール）」の誕生に目を細めていた。

なお、村漁業協同組合の養殖部会では琉球真珠と提携し

シロチョウガイの母貝育成に取り組んでおり、今帰仁村の水産業や観光の大好きな「目玉」に成長する日も近い。

黒真珠生産で世界的に知られる琉球真珠（比嘉良佑社長本社・石垣市）が、企業としては日本で初めてシロチョウガイの養殖に成功した。

シロチョウガイは熱帶性の真珠貝で、沖縄の冬の寒さに耐えられるか懸念されたが、西表島の舟浮養殖場で昭和五十六年から続けてきた人口彩苗に目途がついた。

その後、羽地内海湧川地区で試験養殖に取り組み、約十一年間かけて市場に出せる商品化がこのほど実現した。

「クロチョウガイで培つてきた技術が役立った。湧川の海はプランクトンが多く、養殖に最適です」と仲野英則養殖部長。

城末春さん（今泊一一八）は、「美しい真珠が多く女性に愛用されるようこれからも技術の向上に務めたい」と語り、「黄金真珠（ゴールドパール）」の誕生に目を細めていた。

なお、村漁業協同組合の養殖部会では琉球真珠と提携し

シロチョウガイの母貝育成に取り組んでおり、今帰仁村の水産業や観光の大好きな「目玉」に成長する日も近い。

発明くふう展

優秀賞

むらた歯科の
村田精太郎院長

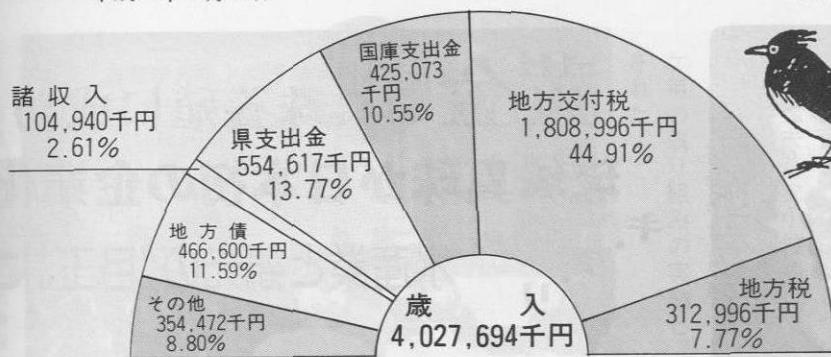
アメリカ政府の特許取得

賞は虫歯の治療で抜歯が楽にできるよう三つの器具を考案したことによるもの。

この器具は、歯周鞆剥離子、歯科用エレベーター、抜歯鉗子と名づけられ、日本政府特許庁の実用新案に登録。それにアメリカ政府特許庁の特許も取得しています。

歯科医の専門誌「歯界展望」を始め多くの書物に論文を発表している村田先生は、「この器具を使うと治療を受ける方の痛みを少なくし、無理なく治療できます。国内外に抜歯器具を普及させることができます」と語りました。

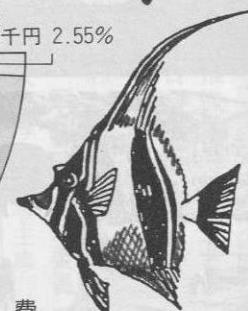
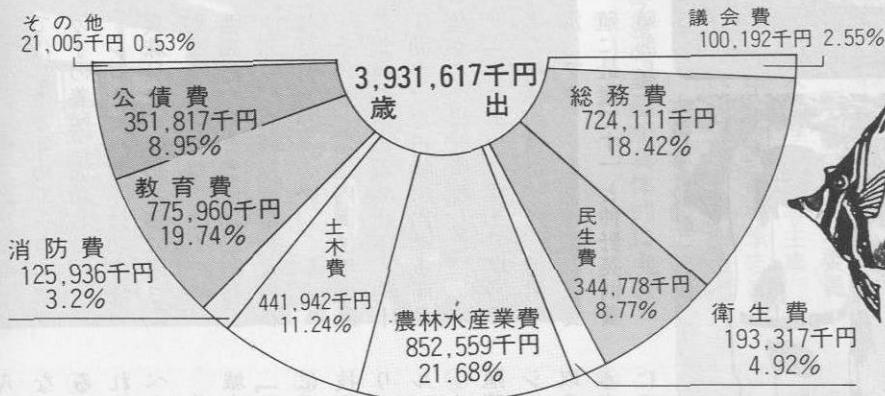
これとは別に十一月二十九日、浦添市民会館で行われた「第二十三回沖縄県公衆衛生大会」で、優良公衆衛生事業功労者として県公衆衛生協会会長より表彰を受けました。受賞



一般會計

**お知らせ
します**

平成二年度 今帰仁村の決算



村債の内訳

(平成3年3月31日現在)単位千円

過疎対策事業債	1,690,990千円
義務教育施設整備事業債	248,655
公営住宅建設事業債	202,536
特定資金公共事業債	186,801
一般単独事業債	231,062
公共用地先行取得事業債	78,630
財源対策債	61,492
県貸付金	119,892
臨時財政特例債	70,897
調整債	23,063
一般公共事業債	5,474
災害復旧事業債	6,841
厚生福祉施設整備事業債	5,781
減収補てん債	3,979
合計	2,936,098千円

村 有 財 産 の 内 訳

(平成3年3月31日現在)

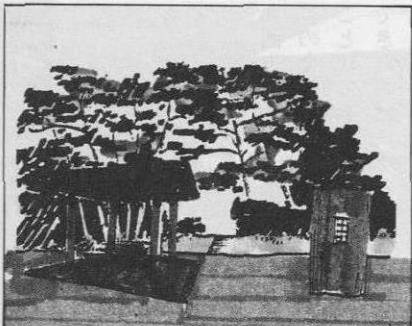
建 物 42,214.36m ²	土 地 5,769,107.94m ²
	

車 輛 25 台	有価証券・基金・出資出損金 705,662.987円
	

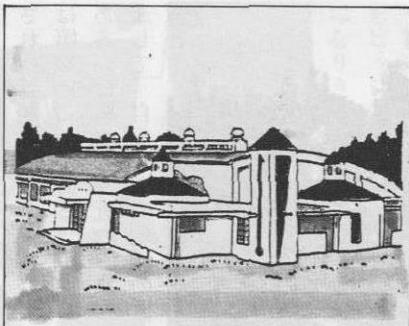
区分 年度	歳入総額	対前年度 増減率	歳出総額	対前年度 増減率
平成 2年度	4,027,694氏円	+8.85%	3,931,617千円	+8.12%
平成 元年度	3,700,253千円	+10.85%	3,636,201千円	+11.07%
昭和 63年度	3,338,192千円	+9.13%	3,273,835千円	+8.95%

決算の推移

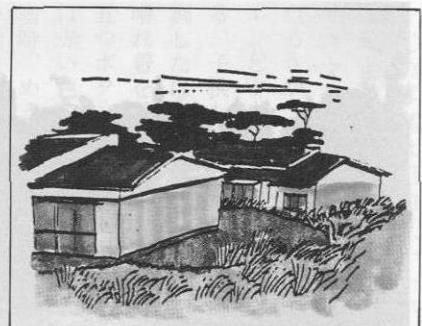
- 地域づくり推進事業
 - 村民ブール建設事業
 - 農村総合整備事業
 - 運天漁港整備事業
 - 村営住宅建設事業
 - 構造改善モデル事業
 - 村道整備事業
 - 地方改善施設整備事業
 - 簡易水道事業
 - ふるさとづくり特別対策事業
 - 林業振興特別対策事業



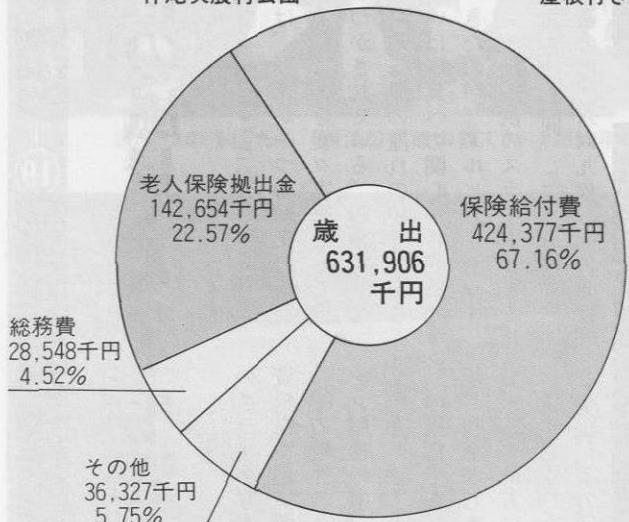
仲尾次農村公園



屋根付きの村民プール

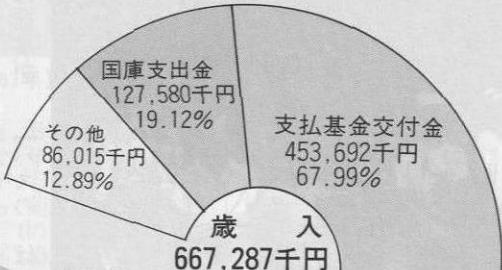


勢理客第二団地



歳入	
保 険 稅	146,681千円 21.21%
国 庫 支 出 金	397,318千円 57.46%
療養給付費交付金	11,331千円 1.64%
共同事業交付金	2,918千円 0.42%
繰 入 金	36,053千円 5.21%
繰 越 金	92,284千円 13.35%
そ の 他	4,910千円 0.71%
合 計	691,495千円

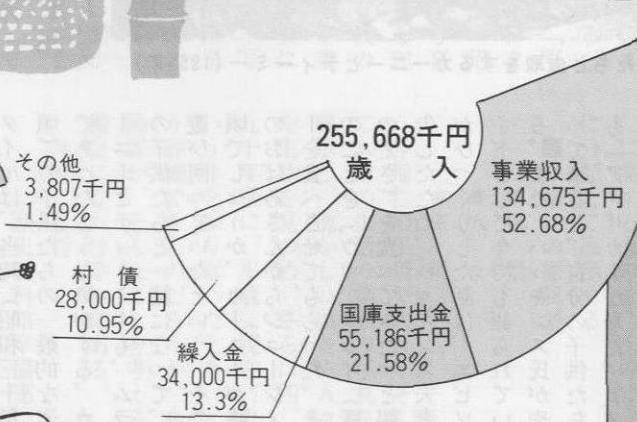
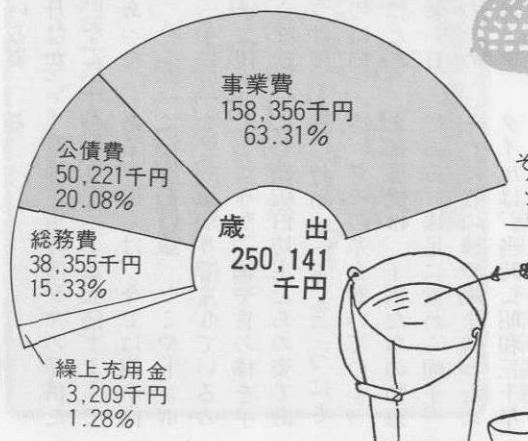
歳出
665,201千円
3.07%



国民健康保険特別会計

老人保健特別会計

特水道事業別会計



今帰仁の風景・人々・生活

「写真にみる今帰仁」も十九回を数える。その間、数多くの今帰仁の写真を手にすることができた。これまで紹介できたのは、その一部にすぎないが、多くの方々が目を通され、話題にされていることは嬉しいことである。戦前、あるいは戦後の身近な写真を通して、自分たちの地域の歴

史を語ることができることは、写真が一つの歴史史料であることを度々実感として気づかされている。このシリーズの一連の流れの中で、あるいは写真への関心から収集で始めたのが、メリピン・ハッキンス氏提供のスライド写真である。今回、ここで紹介するのは、六六九枚の内の五枚

のスライド写真である（歴史資料館準備室所蔵）。

①の数件の茅葺き屋根とトタン屋根のある写真是、親泊（現在今泊）のナガサフバーリ（現在今泊）のナガサフバーリの集落である。昭和二八年頃、教会から東側を見た風景である。前方には、水田の稲青々となびき、母屋や小さな小屋、家の回りには福木が

あり、洗濯物を干している姿も見える。四月から五月にかけての日差しだろうか、なんともいえない、かつてあつた長閑な風景である。

②の写真は、一九六一年に来襲した台風でスクミチ（現在の県道）に倒れた大きな松

をノコギリで切って片づけているところである。その時の台風で、今泊で三十軒ほどの家が崩壊したという。暑い日差しの中で、災害復興のためのムラの人たちによる夫（ブ

ー）作業である。後方には、「バスのりば 親泊」と見え



①親泊（現在今泊）のナガサフバーリの集落（1953年頃か）



②台風でスクミチに倒れた松の片付け（1961年）

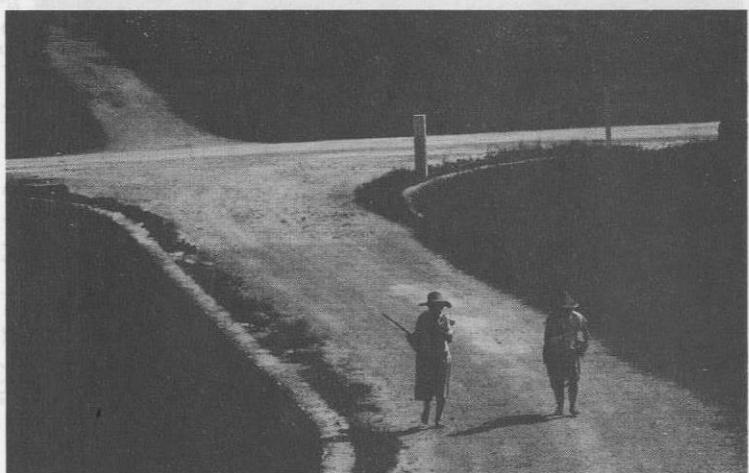


③シマの子供たちと虫取をするカーニーとティーミー（1956年）

③は、当時のシマの子供たちとカーニーとティーミーである。彼らは、今では四十代になっている。セミやトンボなど、虫取りでもしているのでしょうか。網や竹の棒を手にした腕白坊主たちの姿である。竹の棒の先を二つにさき、クモの糸を巻いてつくった捕獲機は、子供たちの知恵である。裸足に麦わら帽子、それに竹の棒や網を持つスタイルは、当時（昭和三十年頃）の子供たちの一般的な姿である。おばあさんからジューシメーを食べさせてもらつた。その頃でしょうか、カーニーが隣のえさ）を食べててきた」と報告したため、ハッキンス夫妻がびっくりした話は、エピソードとして今でも語られている。また、ハッキンス氏がやつて来ると、自分の子供たちと一緒に遊んでいたとハッキンス氏は、写真を見ながら回想される。



④シマの子供たち（親泊公民館の前で）（1956年）



⑤親泊（現在今泊）のアジマー付近（1957年）

④の写真は昭和三十一年の親泊公民館前である。クリスマス、それとも旧正月だろうか。手にプレゼントのエンビツや学用品を持っていてる。子供たちは散髪をし、新調したばかりの学生服や赤い色の晴れ着が目立つ。晴れ着を着ている。男の子は五つボタンの学生服、女の子は赤い色の晴れ着が目立つ。当時、めったに履かない靴下や靴を履き、ハーニーは髪型をピッシンときめ、シマの子供になりきっている。体型が違

うため、学生服は少し窮屈そ
うである。
親泊（現在は今泊）のコバ
ティシの下からのアングルで
ある。後方のトタン屋根の建
物は、親泊の公民館である。
壁には映画の広告が張られ、
塩の看板も見える。

東西（左右）に伸びる道路が、現在の県道であるが、まだ、アスファルトが敷かれていたり、バスや車が通るとホリが煙幕のように舞い上がり、県道沿いに建っているのが、「北山城址参詣道九町」と彫られた石碑で、現在も残っている。アジマーの写真を何枚か見ていると、この碑は付近をあっちこっち移動させられていて、手前に伸びる道路は、今帰仁城跡への道である。シマの二人の農婦は、麦

わら帽子をかぶり、バーキに
クワやカマいれて背負い、裸
足で畑に向かっている姿は、
夏の出で立ちである。道沿
の水田に稻の穂が金色に染ま
り、実り豊かな風景である。
これまで紹介してきた「写
真にみる今帰仁」は、モノク
ロ（白黒）の写真であった。昭
和三十年代以前、カラー写真

第3回歴史資料館準備室の企画展（平成四年一月十八日、十九日）で、ハツキンス氏提供のスライド写真の今帰仁に関するものを、次のように分類して展示する。

第三回 歷史資料館準備至企圖展

今帰仁の自然 山・川・海、そしてムラ

してみた。鮮やかなカラーリ写真のためか、ごく最近の出来事のような錯覚をおこすこと度々である。そのため、三十余年も前の場面だと言い聞かせながら、写真整理の作業を進めていく。

五十年後に、平成（現在）といふ年を振り返ったとき、どう評価できるのだろうか。企画展が、そんなことを考える機会になれば幸いである。

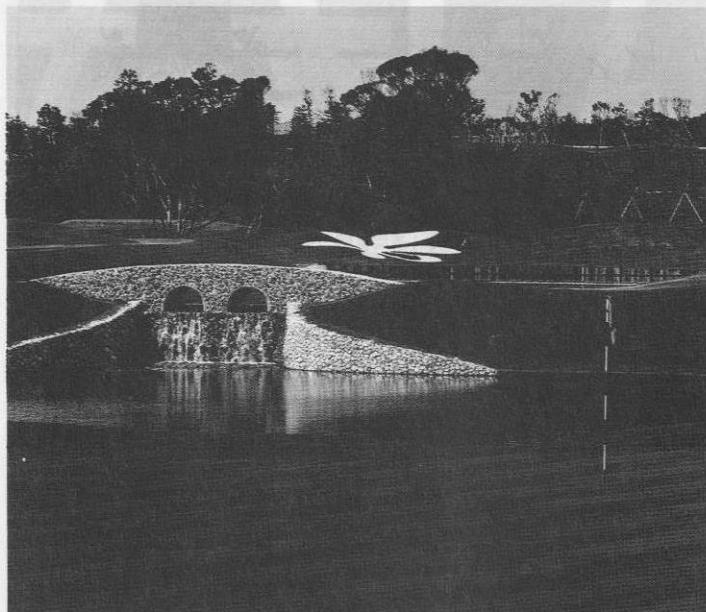
仲原
弘哲

(歷史資料館準備室)

第一部 今帰仁の自然
山・川・海、そしてムラ
第二部 今帰仁の動物・湧水
第三部 今帰仁の原風景

嵐山ゴルフ倶楽部

名勝の地に
華麗にオープン



グリーンはいろいろと花とヒカゲヘゴや相思樹などに囲まれ美しい。
12番グリーンより池ごしに15番グリーン、カトレアバンカーを望む。

セゾングループの(株)西洋環境開発(本社・東京、社長高橋照明)は、十一月三日、湧川から奥我山にかけての景勝地に会員制ゴルフコース、「嵐山ゴルフ倶楽部」を開業した。ゴルフ場面積は、百三十五万平方メートル。十八ホール、パー七十二の本格的なゴルフコース内には、ハイビスカス、ブーゲンビリア、バーベナといつた花々や、ヒカゲヘゴ、相思樹、ナンヨウスギなどの木々を豊富に配して、コース

橋開発(本社・東京、社長高橋照明)は、十一月三日、湧川から奥我山にかけての景勝地に会員制ゴルフコース、「嵐山ゴルフ倶楽部」を開業した。

ゴルフ場面積は、百三十五万平方メートル。十八ホール、パー七十二の本格的なゴルフコース内には、ハイビスカス、ブーゲンビリア、バーベナといつた花々や、ヒカゲヘゴ、相思樹、ナンヨウスギなどの木々を豊富に配して、コース

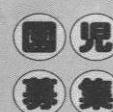
に美しい彩りを添えている。
最近特に注目されている環境問題に対しても、自生していった樹木を一時移しかえ、工事完了後に改めてコース内に移植したり、赤土の流出防止のため、砂防ダムを設置するなどの工夫を行っている。さらには定期的な水質調査を実施して、継続的な環境保全に取り組む計画だという。

オープンに先立ち十月二十四日、上間博安村長を始め政財界関係者とメンバーを招いてオープニングセレブション

が開催された。来賓を代表して山中貞則氏(元沖縄開発庁長官)らが祝辞を述べ、高野

セゾングループでは、今後の計画として、このゴルフ倶楽部を第一段階とし、今帰仁村と名護市にまたがる丘陵地帯の自然を活かし地域農業を基礎とした新しいタイプの複

参列者の目を楽しませた。
セゾングループでは、今後の計画として、このゴルフ倶楽部を第一段階とし、今帰仁村と名護市にまたがる丘陵地帯の自然を活かし地域農業を基礎とした新しいタイプの複



今帰仁村営保育所

一月三十日までにお申込みを

村営の仲宗根、今帰仁、中央、仲尾次の四保育所では、

平成四年度の入園児を募集しています。申込みの締切は、平成四年一月末日です。希望

者は、申込用紙に入所希望児の健康診断書、住民票謄本、源泉徴収票、及び課税証明(保育所入所申請用)を添えて、村役場厚生課へお申込みください。なお保育所の入所基準は次のとおりです。

保育所入所基準

1 幼稚園児の就学に当する場合です。

ただし、その家庭の母親以外の人が児童を保育できる場合は、除かれます。

2 家庭外労働 児童の母親が通常、家庭の外で仕事をしているため、その児童の保育ができない場合。

3 家庭内労働 児童の母親が通常、昼の間家庭で児童と離れて日常の家事以外の仕事をしているためその児童の保育ができない場合。

4 病人の看護等

その児童の家庭に長期にわたり病気であつたり、心身に障害があつたりするので、その児童の保育ができない場合(証明書添付)。

5 家庭災害 火災、風水害、地震などで家を失つたり、破損したため、その復旧の間、児童の保育ができない場合。

なお、申請書はすべて、もれなく記入ください。

連絡先 村役場厚生課

その家庭が次のいずれかに該

保育所へ入所できる児童は、

母親が出産前後であつたり、



琉球舞踊でオープンに花を添えた

合リゾートづくりを行つてく予定である。

1

月/睦月

村民カレンダー

1992年



1 水	○元旦 役場年始休日 ○第11回今泊新春マラソン大会 (10:30~今泊公民館前スタート)
2 木	○初荷 初夢 書き初め 役場年始休日 ○第14回新春ロードレース (8:00受付、10:00出発、総合運動公園)
3 金	○役場年始休日
4 土	○御用始め ○成人式(13:30~15:30コミセン) ○新年の集い(14:00~コミセン)
5 日	○小寒
6 月	○消防出初め式(10:00~本部町・今帰仁村消防本部) ○デイサービス(9:00~17:00コミセン) ○健康の日
7 火	○手話サークル勉強会(19:30~20:30コミセン) ○学校始業
8 水	○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○デイサービス(9:00~17:00コミセン)
9 木	○村商工会青年部定例会(21:00~商工会館)
10 金	○デイサービス(9:00~17:00コミセン) ○子豚セリ市(13:00~家畜せり市場)
11 土	○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン) ○旧ムーチー
12 日	○新春タコ上げ大会(13:30~総合運動公園)
13 月	○デイサービス(9:00~17:00コミセン)
14 火	○北山老人大学終了式 ○手話サークル勉強会(19:30~20:30コミセン)
15 水	○成人の日
16 木	○牛のセリ市(11:00~家畜せり市場)

17 金	○デイサービス(9:00~17:00コミセン)
18 土	○歴史資料館第3回企画展 ○今帰仁の自然一山・川・海、そしてムラー (10:00~18:00コミセン)
19 日	○歴史資料館第3回企画展(9:00~18:00コミセン) ○今帰仁の自然一山・川・海、そしてムラー ○第5回村バレー・ボール選手権大会(9:30~北山高校)
20 月	○乳児健診(13:00~14:00受付コミセン) ○デイサービス(9:00~17:00コミセン)
21 火	○手話サークル勉強会(19:30~20:30コミセン)
22 水	○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○デイサービス(9:00~17:00コミセン)
23 木	○芸能の集い(宜野湾市民会館)
24 金	○デイサービス(9:00~17:00コミセン) ○全国学校給食週間
25 土	○リサイクルの日(14:00~16:00各字公民館) ○おもちゃ図書館(9:00~12:00コミセン)
26 日	○文化財防火デー ○子豚セリ市(13:00~家畜せり市場)
27 月	○デイサービス(9:00~17:00コミセン)
28 火	○ツベルクリン反応もれ者予防接種 (14:00~15:00コミセン) ○手話サークル勉強会(19:30~20:30コミセン)
29 水	○心配ごと相談(13:00~17:00コミセン) ○デイサービス(9:00~17:00コミセン)
30 木	○BCGもれ者予防接種 (14:00~15:00コミセン)
31 金	○デイサービス(9:00~17:00コミセン)
2/1 土	○テレビ放送記念日

■一九五一年から六三年にかけて、今泊に宣教師として滞在していたメリビン・ハッキンスさん(六四歳)、マー・ガレットさん(八四歳)夫妻、アメリカオレゴン州が、このほど二十八年ぶりに今帰仁村を訪れた。

■ハッキンスさんは当時、沖縄で撮影したカラースライド六百六十九枚を各地で上映し、伊江村、宮古島の風景や人物、その色の水田、地域の行事などが鮮やかに写しされ、訪れた人々も驚いていた。

■ハッキンスさんは「風景はわったが人の心は変わらない。ふるさとに帰つた気持です」と『里帰り』の印象を語っていた。

■ハッキンスさんは「写真にみる今帰仁」の特集として、これらの貴重な写真の一部を掲載。一月十八日、十九日に開催される歴史資料館準備室の企画展で展示を予定しています。

■ハッキンスさんは、當時、沖縄で撮影したカラースライド六百六十九枚を各地で上映し、伊江村、宮古島の風景や人物、その色の水田、地域の行事などが鮮やかに写しされ、訪れた人々も驚いていた。

■ハッキンスさんは「風景はわったが人の心は変わらない。ふるさとに帰つた気持です」と『里帰り』の印象を語っていた。

■ハッキンスさんは「写真にみる今帰仁」の特集として、これらの貴重な写真の一部を掲載。一月十八日、十九日に開催される歴史資料館準備室の企画展で展示を予定しています。

